



平成10年12月末現在

平成10年度
白根市一般会計
予算の執行状況

白根市の

財政事情

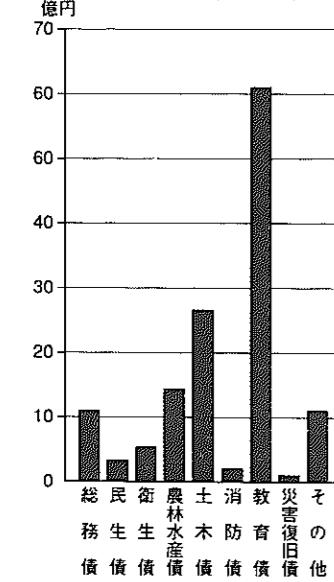
昨年4月から12月までの平成
10年度一般会計予算の執行状況
をお知らせします

●平成10年度の主な建設事業

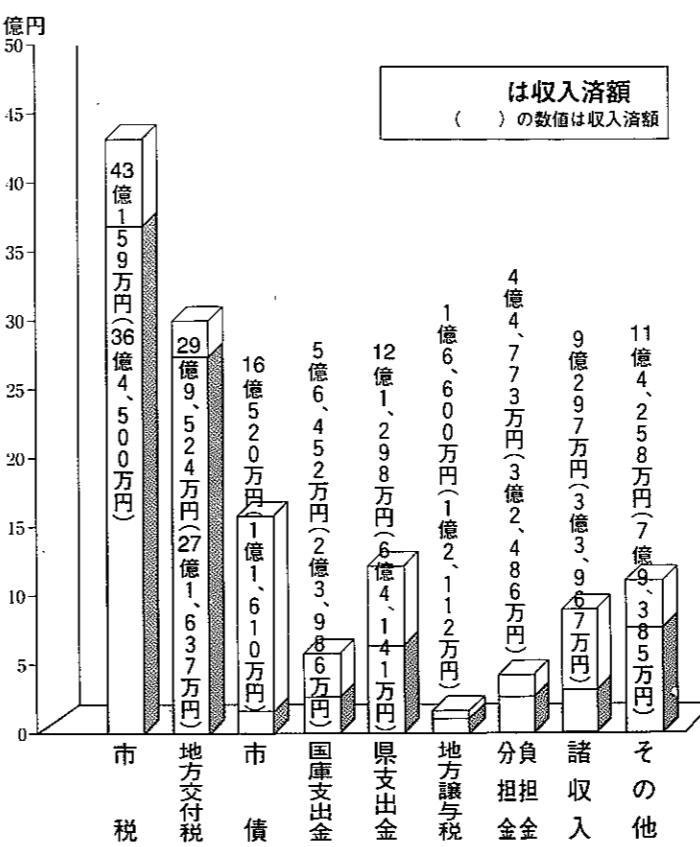
事業名	事業費
農村総合整備事業(モデル型)	4億853万4千円
単独道路等整備事業	2億4,076万5千円
消防施設整備事業	9,766万6千円
水害対策工事・水害対策用地購入費	4,040万円
新飯田小学校用地購入費	5,677万4千円
(仮称)生涯学習センター建設事業	7億5,739万5千円

歳出

●市債現在高の状況

は支出済額
()の数値は支出済額

歳入

は収入済額
()の数値は収入済額

●市税の課税と収納状況 (H10.12月末現在)

区分	予算額	課税額	収納額	税率
普通税	市民税	1,564,808	1,551,387	1,165,491
固定資産税	2,357,314	2,433,535	2,185,350	89.8
軽自動車税	58,578	62,840	60,518	96.3
たばこ税	267,379	211,268	183,053	86.6
特別土地保有税	1	0	0	0.0
目的税	入湯税	150	172	172
都計画税	53,359	56,326	50,419	89.5
合計	4,301,589	4,315,528	3,645,003	84.5

●市民の税負担

区分	1人当たり	1世帯当たり
市民税	28,406円	107,952円
固定資産税	58,621円	222,784円
軽自動車税		
たばこ税	8,093円	30,758円
特別土地保有税		
入湯税		
都市計画税	95,120円	361,494円

※市民の税負担の金額は課税額です。ただし、市民税は法人税を、固定資産税は国有資産等所在市町村交付金、納付金をそれぞれ除いてあります。

●収入と支支の状況

(仮称)生涯学習センター建設事業や緊急生産調整推進事業、ごみ減量化推進事業などを盛り込んだ平成十年度の当初予算額は、百十八億一千七百万円。前年度を六億八千六百万円(五・五パーセント)下回る予算額でした。

さらに、その後七回の補正予算により、九億八千七百七十六万円になり、これに平成九年度からの繰越明許制度である中小企業制度への新たな融資制度である中小企業制度資金(四億円)や八月四日・十二日の水害対策費(六千八百三十三万円)、市道の維持費・新設改良費(八千九百四十二万円)、除雪経費(七千四十四万円)などを追加しています。補正予算では、商工業者規模は百三十三億三千八百八十一万円となっています。

十二月末現在の歳入歳出予算執行状況は、繰越明許費を加えた総予算額に対しても、収入済み額が八十九億三千八百二十万円で、六七・〇パーセントが収入済み。支出済み額は八十億三千六百六十八万円で、六〇・三パーセントが支出済みです。

十二月末現在の歳入歳出予算執行状況は、歳入の主要な財源である市税は、当初予算額が四十三億八千七百五十九万円でした。しかし、個人市民税の特別減税追加実施による減額や法人市民税の落ち込みなどから予算を減額し、補正後の予算額は当初予算を八千六百万円下回る四十億円で、百三十七億八千七百五十二万円でした。

現在高は教育債が最も多く、六十億五千二百六十五万円。次いで土木債が七億三千七百九十六万円、総務債が十一億四千二百四十八万円の順になっています。それぞれの主な内訳は以下のようないました。

現在高は教育債が最も多く、六十億五千二百六十五万円。次いで土木債が七億三千七百九十六万円、総務債が十一億四千二百四十八万円の順になっています。それぞれの主な内訳は以下のようないました。

現在高は教育債が最も多く、六十億五千二百六十五万円。次いで土木債が七億三千七百九十六万円、総務債が十一億四千二百四十八万円の順になっています。それぞれの主な内訳は以下のようないました。

現在高は教育債が最も多く、六十億五千二百六十五万円。次いで土木債が七億三千七百九十六万円、総務債が十一億四千二百四十八万円の順になっています。それぞれの主な内訳は以下のようないました。

現在高は教育債が最も多く、六十億五千二百六十五万円。次いで土木債が七億三千七百九十六万円、総務債が十一億四千二百四十八万円の順になっています。それぞれの主な内訳は以下のようないました。